

令和6年入学式・校長式辞

国立松江工業高等専門学校

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。

花々が満開の今日、ここに、国立松江工業高等専門学校に入学された、新入生の皆さんと、保護者の皆様に、松江高専の教職員を代表して、心からお祝いと歓迎を申し上げます。新入生の皆さんを、新たな仲間として松江高専にお迎えできることは、私たちが教職員にとって大変喜ばしいことです。

本日、本科に、機械工学科 41名、電気情報工学科 42名、電子制御工学科 44名、情報工学科 40名、環境・建設工学科 40名、の207名、3年次編入留学生としては、(マレーシア、ベナン、カンボジア)から 3名及び、専攻科に 34名の 合計 244名の学生が本校に入学されました。

本校の教職員一同、心よりお祝いし、歓迎いたします。

本科の皆さんは、中学校を卒業されて松江高専に入学され、高専生になりました。もし、高校へ進学されていれば、皆さんは中学校の時と同じように、「生徒」と呼ばれたはずですが、高専では

大学生と同じ「学生」と呼ばれます。これは、高専が高等教育機関であり、皆さんが一般教養教育と実践的専門教育に主体的に参画し、責任と自覚を持って、今後、高専で活動していただくめです。

また、高専においては、教育を受けるだけでなく、教職員との協働によって、学術・工学の進歩向上を図るため、高学年になると学会や協会での研究発表もあります。

さらに、昨年度からは、スタートアップ教育環境整備事業が始まり、15歳から新しい価値を創造する起業家マインド、スキル、アクションなど、地域の課題に気づき解決する教育、社会に役立つ技術を意識したプロジェクトも進めています。

松江高専の教育・研究および社会連携の水準を高度なものとすることに努め、また、クラブ活動や全国高専のコンテストやコンペティションなどの実践的な課外活動を活発なものにし、グローバルな観点から、海外交流協定大学との双方向交流も盛んにして、皆さんが卒業するとき、「松江高専で学んでよかった」と、心から思えるような学校にしたいと考えています。

松江高専は今年、創立60周年の節目を迎えます。

これまでの松江高専の歴史に、新たなものを加え、松江高専の新しい伝統を皆さんと一緒に創っていききたいと思います。

松江高専に入学された皆さんに重要なのが、健全な学生生活を送ることです。そして、この健全な学生生活に最も重要なのが「健康」です。健康に生活するための方法は、非常に単純です。よく眠り、しっかり朝食をとり、毎日1限目の授業から出るという規則正しい生活をする事です。これを卒業するまでずっと続けることが、健全な学生生活を送れる基本です。

私の教員としての経験から、皆さんにお願いと助言を3つしたいと思います。

まず、1つ目は、学内はもとより日常において、しっかりと挨拶をしてください。皆さんは、将来、社会を支える技術者になりませんが、コミュニケーション能力は、社会に出てからも非常に大事です。挨拶は、コミュニケーションの始まりです。学内では、全ての教職員や来校の方々だけでなく学生どうしも、自然な形での挨拶をしてください。高専生活の中で、是非とも高いコミュニケーション能力を養ってください。

2つ目は、多感な学生時代において何事にも興味を持ち、積極的に勉学を始めとする諸活動に、取り組んでほしいということです。皆さんは、工学・技術を学びますが、スポーツや芸術、音楽、

また、自然に触れることも非常に重要です。

何事にも興味を持ち、自ら教養を高めるために高専教育の中の専門書以外の本も、是非とも読んでください。教養は単なる知識ではありません。「生きる力」につながるものです。

スマートフォンやタブレットは、使い方によっては世界の図書館を持ち歩いているような使い方もできます。読書は、他者が経験したことや獲得したものを追体験でき、自分の世界を広げ、考える力を養うことができます。

3つ目は、学生時代に多くの友人を作り、同じ価値観を一生共有できる人達を、多く持つようにしてください。私も、学生時代の友人がいますが、社会に出てからできる友人とは違って、格別な役割を生涯果たします。

特に何かの悩みや判断に迷ったとき、まずは周辺を整理整頓して、じっくりと問題を考え、その後、保護者、カウンセラーや教員に相談するとよいですが、内容によっては、同世代の友人への相談が最も大きな役割を果たします。学生時代にできた友人は、生涯大変貴重な存在になります。

高等教育機関である高専では、ICT機器、情報通信技術を用いて、学修成果の可視化などを行っています。皆さんの能動的な学

修への参加を取り入れた教育で、授業に主体的に参画して、対話的で深い学びをするものです。知識のみを追求するのではなく、課題発見や社会の変化に対応できる能力を養うものです。

最近の科学・技術の世界は、イノベーションが急速に進み、勤続年数の長い社員と新入社員が同じスタートラインに着くような分野も出ています。この技術への対応などはその典型です。

本校では、文部科学省が認定する「数理・データサイエンス」の教育プログラム（リテラシー）を取得し、今後、更なる高度情報専門人材育成に力を入れる所存です。自ら学び続ける姿勢を身につけることが非常に大事です。しっかりと基礎力をつけ、それらを応用して社会のニーズに従って柔軟に対応できる力を身につけてください。

新入生の皆さんが、快適で健全な学生生活を送れるように、教職員一同、全力で支援をします。

繰り返しになりますが、新入生の皆さんが松江高専を卒業するとき、「松江高専で学んでよかった」と思えるようにしたいと考えています。

今後の学生生活を大いに楽しんでください。

本日は、ご入学、誠におめでとうござります。

令和 6 年 4 月 5 日

独立行政法人 国立高等専門学校機構

松江工業高等専門学校

校長 和田 清